

現況・課題

提案

子どもと出かける

公園の利用
 ・近くに公園がない。
 ・公園に行っても、なかなか声を掛けにくいので、仲間は作りにくい。
 ・幼い子の遊べる場所が少ない
 ・最近公園も危ないことがあるので、皆の目が行き届く場になって欲しい。

室内の遊び場
 ・他の地域では無料でサロンのような場があり、そこでいろいろ話せるが、この辺にはなくて不便。
 ・小さい子には、汚される、壊されるなどの理由で、スペースを貸してくれるところが少ない。
 ・スーパーに子供を遊ばせるスペースのできたところもある。

情報はどこから

ママ会
 ・母子手帳が交付された時、ママ会の情報を得た。
 ・ママ会に民生児童委員が参加しているため地域の子がわかる。

インターネット
 ・インターネットで情報を得る。しかしインターネット情報は地域の詳細な情報は得られない。
 ・子どもが大変なときには動けない。インターネットが役に立っていた。

口コミ
 口コミ。母親同士。近所の人。人に聞くのが一番。

広報
 区の広報は高齢者の情報が多く、子育てに関する情報が少ない。

母親の孤立相談相手

近所付き合いをしないお母さん
 ・相談相手がいらないお母さん。窓口はあるが、そこに行くまでもない身近な悩み。
 ・子どもが1歳になるまでとてもつらい。将来の不安ばかりが募ってしまう。大変な時は外に出られず情報が入ってこない。家に閉じこもり気味。頼りになるのは保健師になる。
 ・幼稚園くらいになると外とのつながりを求めて自分で動けるようになる。

子どもを通しての交流

はげみになる・支えになる
 ・子どもができてつながりが広がった。
 ・同じ障害がある子と交流をしたい

母親の関係づくり
 ・絵本の会
 ・ママ会
 ・異年齢交流
 ・「みんなみんな」

さまざまな子どもとのふれ合いの必要性

母親世代のコミュニケーションの変化
 インターネットでメールのやりとり

子育ての中で困っていること

道・歩道
 ・バリアフリーになっていても、気付かない段差があり車輪がはまってしまうことがある
 ・道が狭く、ベビーカーは辛い。

区役所
 ・健診時エレベーターにベビーカーが集中する。共存できるように建物内の配置を考えて。

駅
 ・エスカレーターにベビーカーを乗せてはいけない

バス停
 ・16号のバス停に屋根がない。今夏は暑く、日差しが強くて高齢者にとって大変。椅子も必要。

保育園
 ・保育園の入りづらさが問題。働きたいけど保育園に入れない。
 ・一時保育している園は限られている。急に預けられない。

子育て支援ボランティアグループがなくなってしまった。みなさん高齢者になり、若い人は動めだした。

外国人ママ
 ・予防接種の案内・内容が読めない。
 ・母親教室に通訳が欲しい。

子育てを支援する場所がない

・一日使用できる場所を
 ・町内会館やサンダル履きで行ける場所が欲しい。
 ・コミュニティーハウスの休館日を使用できないか。

・0・1・2歳が集える安全な遊び場が欲しい。

遊びに入るきっかけ・人
 ・公園など毎日数人で見ていてくれるところがあるといい

自分たちで活動してみる
 ・遊具の貸し出しを区役所とか近くの地区センターでしてくれるといい。遊具の貸し出し制度があるといい。図書館のような手軽さで、おもちゃやエプロンシアター等を借りれるとよい。
 ・活動できるスペースがあるとよい。
 ・行政等に頼っていることが多いので、足りない事は自分達でどうにかしたい。自分達で立ち上げると言う気持ちが必要。

子育てグループでの活動
 ・自分も積極的に活動したい
 ・集まって横のつながりができるといい
 ・挨拶のできる街に
 ・ケアプラザからの声掛けりで交流を行なっている。
 ・高齢者との交流
 ・機子にも元氣な母がいることを知ってもらおう。「いそっこ」有名。それを地域が知る場を造ることが必要。

子供相談室のアピールを
 ・話をしてみると悩んでいる。きっかけをつくるのが難しい。

地域の縦の交流ができるようにしたい。

子育て支援グループ
 ・国際ママ「アイアイ」
 ・上中里地区センター
 ・洋光台
 ・トボック(ヴェア)
 ・子育て支援のネットワークをつくり、みんなに知らせたい。他の区との連携があればよい。

一時保育を充実。緊急対応できるように。

近場で!
 ・それぞれの地域で(身近な場所)多世代で集まれるところが欲しい。地域により、ニーズが違うそれぞれにあった場所が必要。
 ・施設利用の時ボランティアだと借りにくいので、借りやすいルールを作って欲しい。
 ・施設利用に関しては、現場に参加したことがない人・知らない人が討議して改善されない。実際に参加している人たちの“声”を汲み上げて欲しい。